

# ほか ワンセグ 高瀬の 番組チェック



文：高瀬徹朗 *Takase Tetsuro*

本誌放送アナリスト・ワンセグウォッチャー

スマートフォンに切り替えて3カ月ほどだが、いまだ操作に慣れない。というか、ケータイを触る機会が依然と比べ激減した。お気に入りの着メロ、親指のみの操作ながら神業を連発できるほど上達した各モバイルゲーム、頻りに情報を確認していた登録サイト……いまと比べてすべてが懐かしい。揚げ句、なぜかワンセグの受信感度まで極端に落ちる始末。おかげで旧端末をいまだに処分できず(ワンセグ確認時はFOMAカードを入れ替えて使用)、節電が求められる今日において頭が痛い状況となっている。どなたか、スマートフォンの有効な楽しみ方を伝授してください。それではチェック、スタート。

TOKYO MX  
12セグデータ放送 「まちダネ」

## 結線ありき!? のチャレンジングな新サービス

### TOKYO MX 12セグデータ放送 「まちダネ」サービス開始

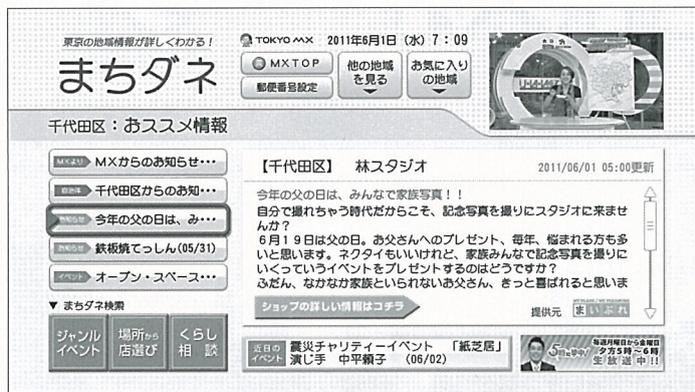
東京メトロポリタンテレビジョン(TOKYO MX)12セグ非連動データ放送で6月1日より開始された「まちダネ」。地域ポータルサイトを運営するフューチャリングネットワークと連携し、区市町村別にカテゴリ化したイベント情報、店舗情報などをデータ放送で視聴者に届けるという、同局ならではの新たな試みだ。

まずトップページ。メニュー最上段に「まちダネ」が表示されるほか、下部には一件分の店舗情報スペースがある。数秒で表示店舗が切り替わっていて、少々忙しい印象。ただ、この時点で情報内容が新宿区内に限定されていることから、B-CAS情報によって居住情報を取得していることがわかる。

メニュー「まちダネ」を選択すると専用ページへ遷移。おそらくはトップページで代わる代わる表示されていたであろう店舗からのお知らせ・イベント情報をゆったり確認できるページだ。店舗名を選択すると、右側のボックスに詳しい内容が紹介されている。

ひとつ例をとると「ウッドマンズケーキ 当店は抹茶、前茶などの素材を使った洋菓子が特徴のスイーツを製造、販売しています(中略)是非足を運んでみてください」といった内容。少々意外なことに、この部分には店舗自体の詳しい場所情報が掲載されていない。これ以上の詳細な情報を得るためには、LAN回線の接続が必要となる。

そのほか専用メニューとして「ジャンルイベント」「場所から店選び」「くらし電話帳」がある



が、これらはすべて通信経由の情報取得が必要。下部の短文テキスト「近日のイベント」も詳細取得には結線が必要な仕組みだ。なお「場所から……」は選択可能地域が表示されるが、表示されている地域(新宿駅、四ツ谷駅、神楽坂駅ほか)から察するに、ここにも選択地域情報が生かされているものと見られる。

「他の地域を見る」は結線不要で、単純にトップ表示地域だけを変えられる。ここでは東京23区および都内各市のほか、埼玉、千葉、神奈川県からも表示地域を選択できる。おそらくは県外から出勤している人向けのサービスだろう。

### LANを接続してみると……

ここからはLAN回線を接続した編集部のテレビでチェック。先ほどは進めなかった店舗名→決定ボタンと進むと、通信経由の詳細ページへ。すると、左部の店舗メニューがすべて選択した店舗に変化した。内容的にも店舗の位置情報やクーポン配布、イベント情報など詳細なものが表示されるが、いちいち左側メニューを選択し直すのが少々面倒だ。

続いて「ジャンルイベント」メニューから「グルメ」を選択。が、ニューメディア編集部のある中央区銀座近辺では該当情報が無いらしい。場所が場所だけに該当なしは意外だが、これは情報元の課題だろうから、あまり突っ込まないでおこう。気を取り直して「イベント」を選ぶと、今度は「第13回銅夢版画展」が表示された。

受信エリアごとに異なる内容を提供していること、またその区分けも割に細かく行っていることなど、取り組みとしての評価点は高い。またデータ放送において広告要素を大胆に取り入れたことも高く評価できるだろう。ただ、正直、通信経由で得られる情報の充実度がイマイチな印象。もっと放送経由情報を増やして(せめて店舗位置情報くらいはほしい)単体でも成立するようにするか、あるいはもっと大胆に通信経由情報取得領域を活用する(HTMLベースの専用ページを活用するなど)か、検討の余地はありそうだ。

とはいえ、立ち上がったばかりの新サービス。独立系UHF局、ひいては中小規模放送事業者に勇気を与える取り組みとして、まずは期待を込めて見守りたい。

